

## 第8回産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和2年9月15日（火）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和2年9月15日（火）午前11時3分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
4番 佐々木雄司君      6番 保田 守君      8番 治徳 義明君  
10番 行本 恭庸君      14番 佐藤 武文君      18番 金谷 文則君
- 5 欠席委員  
なし
- 6 説明のために出席した者  
市長 友實 武則君      副市長 前田 正之君  
副市長 川島 明昌君      産業振興部長 是松 誠君  
建設事業部長 杉原 洋二君      産業振興部政策監  
兼建設事業部政策監 中山 教浩君  
農林課長 矢部 勉君      商工観光課長 大崎 文裕君  
地域整備推進室長 菊地 良典君      建設課長 福圓 章浩君  
上下水道課長 塩見 真康君      赤坂支所  
産業建設課長 石井 徹君  
熊山支所 砂子 武久君      吉井支所  
産業建設課長 中務 浩行君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 元宗 昭二君      副参事 黒田 未来君
- 8 審査又は調査事件について
  - 1) 議第51号 令和2年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算（第1号）
  - 2) 議第52号 令和2年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算（第1号）
  - 3) 議第53号 令和2年度赤磐市財産区特別会計補正予算（第1号）
  - 4) 議第54号 令和2年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）
  - 5) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（佐々木雄司君） おはようございます。

ただいまから第8回産業建設常任委員会を開会いたします。

開会に先立ちまして、皆様方をお願いを申し上げたいと思います。

御承知いただいておりますとおり、コロナの感染拡大防止対策といたしまして様々にこの対策の取り組みのほうを進めさせていただいております。本委員会におきましても、この対策のほうをしっかりと進めてまいりたいと思いますので、御協力方よろしくお願い申し上げたいと思います。

それでは初めに、友實市長より御挨拶を賜りたいと思います。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さん、おはようございます。

本日は第8回の産業建設常任委員会をお開きいただきまして、ありがとうございます。

冒頭に委員長からもございましたように、新型コロナウイルスの感染拡大、なかなか収束に届かかっていかないという状況であります。我が赤磐市においては、最後の感染者確認が8月28日以来、13日間感染者が出ていないという状況でございます。市内における感染拡大は防止することができていると思っております。今後も新たに感染者が入ってきた場合に拡大を防ぐための注意の喚起、あるいは消毒やマスクの励行、こういったことを市民の皆様にも力強く協力を呼びかけていこうということでございます。あわせて、農業をはじめとした産業への支援、これも力強く進めていきたいということで推進をしているところでございます。

今日の産業建設常任委員会で御審査いただくものとしたしましては、9月の定例市議会に上程させていただいております議案の各種及び令和2年度の各事業の進捗状況及びその他の項を予定してございます。慎重に御審査いただき、適切なる御決定をいただけますようお願いを申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入りたいと思います。

当委員会に付託された案件でございますが、議第51号令和2年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算（第1号）から議第54号令和2年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）までの4件であります。

それではまず、議第51号令和2年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算（第1号）を議題とし、これから審査を行いたいと思います。

執行部からの補足説明がありましたらよろしくお願いいたします。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 本件につきましては、本会議場で説明をさせていただいております。補足説明はございません。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

補足説明はありませんということですので、これから質疑を受けたいと思います。

委員の皆様方で質疑がありましたらよろしく願いいたします。

質疑ありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようですので、これで質疑を終わりたいと思います。

続きまして、議第52号令和2年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算（第1号）を議題とし、これから審査を行いたいと思います。

執行部からの補足説明がありましたらよろしく願いいたします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 本件につきましては、本会議場での説明のとおりでございます。補足説明はございません。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

補足説明なしとのことですので、これから質疑を受けたいと思います。

委員の皆様方でこの件につきまして質疑がありましたらよろしく願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、これで質疑を終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） 質疑がないようなので、これで終了したいと思います。

続きまして、議第53号令和2年度赤磐市財産区特別会計補正予算（第1号）を議題とし、これから審査を行いたいと思います。

執行部からの補足説明がありましたらよろしく願いいたします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 本件につきましても、本会議場での説明のとおりでございます。補足説明はございません。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

補足説明がないようですので、これから質疑をお受けしたいと思います。

委員の皆様方のほうでこの件につきまして質疑がありましたらよろしくお願ひいたします。  
ございませんか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） 質疑がないようなので、これで終了したいと思います。

続きまして、議第54号令和2年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）を議題とし、これから審査を行いたいと思います。

執行部のほうから補足説明がありましたらよろしくお願ひいたします。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 本件につきましても、本会議場で説明をさせていただいておりますとおおり、補足説明はございません。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

補足説明はなしとのことでありますので、これから質疑をお受けしたいと思います。

委員の皆様方の中でこの件につきまして質疑がありましたらよろしくお願ひいたします。

大丈夫でしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） 質疑がないようでありますので、これで質疑を終了したいと思います。

それでは、ただいまから本委員会に付託されました議第51号令和2年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算（第1号）から議第54号令和2年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）までの4件について採決したいと思います。

まず、議第51号令和2年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算（第1号）につきまして、これを原案のとおり決定することに賛成の方は御起立願ひます。

〔賛成者起立〕

○委員長（佐々木雄司君） 起立全員です。したがいまして、議第51号は原案のとおり可決するべきものと決しました。

続きまして、議第52号令和2年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算（第1号）につきまして、これを原案のとおり決定することに賛成の方は御起立願ひます。

〔賛成者起立〕

○委員長（佐々木雄司君） 起立全員です。したがいまして、議第52号は原案のとおり可決するべきものと決しました。

続いて、議第53号令和2年度赤磐市財産区特別会計補正予算（第1号）につきまして、原案のとおり決定することに賛成の方は御起立願ひます。

〔賛成者起立〕

○委員長（佐々木雄司君） 起立全員です。したがって、議第53号は原案のとおり可決するべきものと決しました。

続きまして、議第54号令和2年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）につきまして、原案のとおり決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（佐々木雄司君） 起立全員です。したがって、議第54号は原案のとおり可決するべきものと決しました。

以上で当委員会に付託された案件の審査は全て終了いたしました。

次に、閉会中の継続調査及び審査についての御確認をお願いしたいと思います。

お手元に配付しております継続調査及び審査一覧表のとおり、議長に対しまして閉会中の継続調査及び審査の申し出をいたしたいと思いますが、これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） それでは、このように申し出をいたします。

次に、閉会中の委員派遣についてお諮りいたします。

閉会中の調査及び審査案件の調査のため委員派遣を行う必要が生じた場合、議長に対し委員派遣承認要求を行うこととし、派遣委員、日時、場所、目的及び経費等の手続につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任させていただきますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

次に、その他に入りたいと思います。

その他で委員さんまたは執行部から何かありましたら御発言をお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、その他の部分で御報告いたします。

産業振興部の委員会資料をご覧ください。

1ページでございます。

2のその他、(1)番、令和2年9月1日に是里ぶどう園地におきまして環太平洋大学及び赤

磐市の主催によりますぶどう収穫体験事業を行っております。こちらは、市と環太平洋大学との連携、大学のカリキュラムの一環としまして、本市の農業、農村文化体験、地域住民との交流等を通じまして、留学生が本市の産業、文化を体験学習することを目的としております。また、市としまして、留学生を通じた本市の魅力の再発見、産業、地域コミュニティの活性化等について確認いたしております。

園地などの当日の写真を2つほど載せております。

その下のほうですけれども、(2)番、就農等支援センター事業についてに入らせていただきます。

それから、その後、農林課所管事業の進捗についてになりますので、2ページをご覧ください。

前回までの委員会で就農等支援センターの機能の案の1つとして、タイプの違う施設園芸について御紹介を幾らかさせていただきました。今回は土耕栽培での将来農業の1つでございます。

土耕技術ですが、4番になります、この資料ですと。

3ページをご覧ください。

3ページ、横向きになります。このページは、農業振興基本計画の抜粋でございますが、農業技術の指導等につきましては、感覚的なことが大変多くございます。また、時期も限られますので、技術の伝承には時間のかかることが多くございます。技術の伝承におきましても、最新の技術を導入させていただきますして、時期や時間を問わず、都合のよいときに学習を行っていただける環境も提供してまいりたいと考えております。

このページでは、例としまして、例えば剪定作業の練習などにおきまして、よく世間で耳にしますバーチャルリアリティー、疑似体験ですね、これが可能な道具を利用した学習など、農業技術の習得につきましてもこれらを利用した方法を御紹介させていただいております。

それから続きまして、4ページを御覧ください。

こちらは、農林課所管の委託業務の進捗につきましてお示ししております。就農等支援センター事業の市場意向調査の業務でございますけれども、こちらは発注が完了しまして、まだ業者等の打ち合わせが終わったばかりでございます。進捗率も御覧のとおりでございますので、このとおり御報告させていただきます。

農林課所管の事業は以上でございます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは続きまして、商工観光課からその他で御説明をさせていただきます。

産業振興部資料の5ページをお願いいたします。

その他で、(1)がんばろう赤磐コロナ対策持続化支援金についてでございます。

9月1日現在の実績につきましては、交付決定件数651件、交付決定額1億3,198万9,000円、相談件数など404件の実績でございました。

続きまして、(2)番、がんばろう赤磐コロナ対策経営支援補助金についてでございます。

6月の議会で議決いただきました予算を活用した事業の1つでございます。赤磐商工会さんから御要望をいただいたもので、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた赤磐市内の商工業を営む中小、個人事業者がコロナ対策やアフターコロナのための生産性の向上、売上げ回復を目的とした設備投資や専門家派遣による経営相談などを実施するものに対して補助金を交付するものでございます。

事業の実施主体につきましては赤磐商工会さん、広報でありますとか申請書の受付、審査、それから現地確認、補助金支払いなどの事務を行っていただくこととしております。

事業費といたしましては2,500万円を見込んでおります。

対象事業及び補助率などは、①といたしましてコロナ対策あかいわ設備事業で、設備投資に対する補助金の補助率が5分の4、補助金の下限額が16万円から上限額が80万円、②といたしましてコロナ対策あかいわ専門家派遣事業で、経営相談など専門家と相談を行っていただいたものに対しまして補助率10分の10、補助金の上限額15万円としております。

資料の6ページ、7ページにコロナ対策赤磐設備事業に係るチラシを添付させていただいております。後ほど御確認いただけたらと思います。

続きまして、資料の5ページに戻っていただきまして、(3)吉井加工直売施設の指定管理者の変更についてでございます。

赤磐市仁堀中1376番地、ドイツの森の中にごございます吉井加工直売施設の指定管理につきましては、平成29年4月1日から令和4年3月31日まで株式会社ファームを指定管理者として指定しておりました。株式会社ワールドインテックに株式会社ファームが令和2年10月1日に吸収合併され、株式会社ワールドインテックが事業承継会社となることから、現指定期間の残期間であります令和2年10月1日から令和4年3月31日を期限といたしまして、指定管理者の再指定の手続を議会最終日に上程する予定といたしております。

続きまして、(4)施設維持管理事業についてでございます。

資料の8ページのほうに商工観光課所管の建設工事などの事業に係る案件で250万円以上を一覧表にしております。

なお、施設維持管理事業につきましては、入札に向け設計準備中でございます。御確認いただけたらと思います。

以上で説明を終わります。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

部ごと、課ごとに質疑のほうを受けたいと思います。

それでは、今御説明いただきました農林課所管部分につきまして、委員の皆様方から御質疑のほうがございますらよろしくお願いたします。

その前に、委員会として市長のほうに御確認をさせていただきたい内容があるんですが、今担当原課のほうから就農等支援センターの事業について御説明をいただきました。この事業につきまして、この委員会では今現在検討中ということでいろいろ御説明をいただいている最中なんですけど、市長におかれましては、本議会の議場におきまして答弁に答える形で施設園芸をスタートしてるんだというふうにおっしゃられたんですが、我々委員会としては、スタートをしているという認識はないんですけども、いつ施設園芸をスタートするというふうの方針が決まったんでしょうか。まずそこを明らかにしていただかないと、質疑のほうから先も進みづらいらなというふうに思っておりますので、市長、御説明いただいでよろしいでしょうか。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） まず冒頭に、私の答弁が誤解を生むような形になっていたのなら、おわびを申し上げます。

施設園芸がスタートしてるという意味ではなく、赤磐市における農地ですけども、稲作中心ではありますけども、その中で果物あるいは野菜類、こういったものが盛んに栽培されておりますけども、なかなか新規就農や後継者、あるいは田んぼの利用状況なんか、例えば後継者がいない、あるいは大規模農家が入ってこようにも土壌がぬかるむとか水の便利が悪い、そういったことで耕作放棄地になっている面もございます。そういったところについては、施設園芸がそういったところに普及していけば非常に農産物の栽培量の確保にもつながっていく、また農地の有効活用にも寄与していくという考えから、施設園芸の導入等も視野に入れながら、今後の赤磐市の農業を支えていく仕組みづくりができたらということで、こういった考え方もスタートさせているというふうな意味合いを申し上げます。

現実に赤磐市が施設園芸を運営するとか、そういう意味ではございません。もしそのあたりで誤解があったのなら、おわびを申し上げます。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

市長の御説明も含めまして、就農等支援センター事業につきまして御質疑がありましたら委員の皆様方よろしくお願いたします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 就農等支援センターの関係については、当委員会の中でもいろいろな意見があって、積極的に当委員会としてはこの事業について進めていこうという、まだそうい



うことの意味決定をするような状況には至っていない。しかしながら、この前予算が通ったという過程の中で、事業が進められている、それは致し方がないことではあるんですけど。

先ほど市長から冒頭お断りに似たような御発言もあったわけですけど、実際、現実として我々委員会の中でそういうようなことについて審査をされてないことが市長の発言ということの中で飛び出されるということについては、既に委員会の中で審査して、そのことが進んでいるのではないかなというふうに誤解をされる可能性もあるわけなんです。

そういうことの中で、市長の発言については、もう少し私は慎重な発言をしていただきたいということと、支援センターの課題が我々この委員会の中にでももう少し具体的に説明をした中で進めていただきたい。要するに、既に事業が進んでその後に我々に対して後追いで説明をしておるような今状況になっておると思うんです。もう少し事業を進める前に我々に委員会の中で説明責任を果たしていただきたい。要は、事業を進めて報告を我々の委員会にするだけであっては、我々議会、委員会は今言われるように必要ないような状態になってしまいますので、執行部におかれましてもよくその辺を部内の中あるいは執行部の中において検討して、我々に議論が高まるようなやり方を取っていただきたいと思いますけど、その点についてはいかがでしょうか。

○委員長（佐々木雄司君） 答弁を求めます。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 佐藤委員に御意見、御質問をいただきました。

就農等支援センターにつきましては、年を重ねさまざまな議論を当委員会のほうでしていただいております。その中で、一定の方向が定まりつつあるというふうに我々は思っております。

本日も資料の中で用意させていただいておりますように、次世代の技術を駆使した農業から従来型の伝統ある農業、全てを支援していかなければならないという考えのもとに進めております。

委員会での説明が十分なされていないというところは現実にあるのかもしれませんが。さらに、細かな説明をするように、執行部のほうでも資料の作成など改善を重ねていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 市長は、本会議場で園芸のことについて御答弁をされて、我々は、そのことについて委員会の中でもそういうふうなことについては一切聞いてないと。誤解を招くような発言であったらそれは訂正したいというなことを言われても、本会議場の中で言われたことを訂正するのは本会議場だけしかできないんですね。

そういうことの中で、市長の発言には慎重性が欠けておるということで、もう少し我々委員会を軽視しないようなやり方を、委員会としても、私は、市長に反省をし、委員長のほうからも厳重に言っていただいて、もう少し猛省をしていただきたいというふうに思います。

○委員長（佐々木雄司君） そのほか御質疑ありませんでしょうか。

農林課所管部分ということで。

○委員（治徳義明君） 今ので。

○委員長（佐々木雄司君） はい、農林課所管部分ということで。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） 今、VR、ARを活用した技術指導の御説明をいただいんですけども、これは1番の次世代技術を駆使した施設園芸の中の例として説明したということによろしいんですか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの治徳委員の御質問でございます。

確かにVR、ARは次世代の技術でございますけれども、例えば今4番のところの土耕での農業を行う上で、後継者が技術を継承していかなきゃならないんですけども、この技術の継承の部分に至っても新しいVRとかそういう技術を使っていきたいということでございます。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） ありがとうございます。

要は、次世代技術のところ例として説明していただいたんだと思うんですけども、赤磐市もスマート農業なんかには相当力を入れて実験をされて、私も実験のときに見させていただいたんですけども、現実的に効果が非常にあるんじゃないかなと思ったのはドローンなんだと思うんです。本議会でも一般質問で防災なんかにはドローンの御質問が出ましたけども、今回就農等支援センターを進める上でドローンみたいな活用が次世代技術として重要なんじゃないかと思うんですけども、どういうふうにお考えでしょうか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの治徳委員のお話でございます。

私もドローンを見せていただいて、GPS等を使ってかなり綿密に飛びます。あれは物すごい有効だと思いました。

それから、おっしゃったスマート農業でございますけれども、これは赤磐市もそのコンソー

シムに入って検証に参加しておりますけれども、農業技術、人間がトラクターとかも運転しますけれども、その技術に追いついているかというところはまだの部分もございますが、まだまだこれからどんどん日進月歩で技術も確立されていくと思いますので、この辺は見守っていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 僕も見させていただきまして、農機具のロボット化というのはもう少し長い目で見にやいけんのんじゃないかなというふうに印象を受けましたけども。ドローンに関しては、もう既に新見あたりで実験をされてて、おばあちゃんが農薬をまくのに、こんなに楽だったとはないみたいなコメントをされているようなことで、ドローンなんか力を入れていくべきではないかなというふうな印象を受けたんですけども、就農等支援センターを進める上で、再度、ドローンなんかは重要なんじゃないかと思うんで、もう1度だけ教えてください。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの治徳委員のお話でございます。

おっしゃるとおりでございます。有効な技術というのはどんどん先に進めていかなければならないと思います。それとあと、トラクターやコンバインやいろいろな機械がございますけれども、これの技術についてもメーカーさんに頑張ってもらっていただかなきゃいけないと思っておりますので、これからもこの辺を注視してまいります。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

○委員（治徳義明君） はい、よろしいです。

○委員長（佐々木雄司君） そのほかありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、最後になりますが、先ほど、市長、委員さんのほうから御指摘のほうがありましたことを1度御検討いただきまして、今このように就農等支援センターも将来どうするのかというところの検討をしている段階ですから、事業がスタートを切っているかのように誤解を与えるような内容というのは、発言のほうにはお気をつけいただきたいというふうに思っておりますので、すいませんが、よろしく願いいたします。

そのほかないようでしたら、農林課所管部分につきましてはこれで終わりたいと思います。

続きまして、商工観光課所管部分につきましてはよろしく願いいたします。

○委員（治徳義明君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 1つ確認をさせてください。

先ほど説明いただきましたコロナ対策あかいわ設備事業についてですけれども、私の記憶違いではなかったら、県とかにも同じようなコロナ対策の支援があると思うんですけども、もしなかったらいいんですけど、僕の記憶では何かあったような気がするんですけども、どんなんでしょうか、重複しても構わないということなんでしょうか。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 治徳委員の御質問ですが、岡山県が出しているもの、これが新しい生活様式の実践事業補助金で、補助率が3分の2、それから10万円が上限のものと、岡山県が県の産業振興財団に委託して事業を行っております小規模設備投資生産性向上支援事業補助金、こちらが補助率が3分の2、補助金の下限が50万円以上、上限が300万円というような設備投資のものがございますが、市といたしましては、この補助金とダブらないような、設備投資が100%にならないように制度設計を行っております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 要はダブって申請はしないということなんでしょうか。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 治徳委員のおっしゃられるとおりです。ダブって申請できないというふうに御理解いただければと思います。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

○委員（治徳義明君） よろしいです。

○委員長（佐々木雄司君） そのほか委員さんのほうで質疑がありましたらよろしくお願いたします。

ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、産業振興部所管部分につきましては、これで質疑のほうを終わりたいと思います。

コロナ対策といたしまして、換気等々のために5分の休憩を取りたいと思います。10時40分に再開いたします。

午前10時35分 休憩

午前10時40分 再開

○委員長（佐々木雄司君） 再開したいと思います。

建設事業部所管部分につきまして、その他の項目がありましたら御説明をお願いいたします。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） それでは、令和2年度の建設事業部所管事業、建設課、上下水道課、地域整備推進室、一括して私のほうから進捗状況を報告させていただきます。

建設事業部委員会資料の1ページから8ページとなります。

当初予定いたしておりました案件、現在までおおむね計画どおりに発注のほうが進んでおります。個々の進捗状況につきましては資料のとおりでございます。

事業の進捗に際しまして生じた入札先などは、当初予算の範囲内で次年度以降の事業への財源充当をし、今後もより一層事業の推進を図っていきたいと考えております。

今後の進捗状況につきましては、次回委員会等で適宜報告をさせていただきます。

まずは概要の報告とさせていただきます。

私のほうからは以上です。

○上下水道課長（塩見真康君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 塩見上下水道課長。

○上下水道課長（塩見真康君） 続きまして、上下水道課のその他について御説明いたします。

建設事業部資料の表紙を御覧ください。

上下水道課、その他の2番目といたしまして、水道使用料金の免除に係る状況報告でございます。

令和2年7月分といたしましては、使用水量38万立方メートル、免除額は8,000万円、件数は1万8,200件でございます。

以上で説明を終わります。

○委員長（佐々木雄司君） 地域整備推進室はないか。

○建設事業部長（杉原洋二君） 一括して私のほうがさせていただきました。

○委員長（佐々木雄司君） 一括、そうですか。分かりました。

建設事業部のほうのその他の項目の説明が終わりました。

それでは、それぞれの課ごとに質疑を受けたいと思います。

建設課関係で質疑のほうがありましたら委員の皆さんよろしくお願いします。

建設課関係、ありませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようですので、建設課関係は質疑をこれで終わりたいと思い

ます。

続きまして、上下水道課関係で質疑を受けたいと思います。

委員の皆さん方のほうでありましたらよろしくお願いいたします。

保田副委員長。

○副委員長（保田 守君） 水道の使用料金で予定どおりにこれがいっとるということなんですけど、これから後の部分について……。

○委員（佐藤武文君） ちょっとまだ、説明があるんじゃろ。

○副委員長（保田 守君） これはまた説明があるんですか。

○委員（佐藤武文君） そうじゃろう。今(1)だけじゃ。事業の進捗状況。

○委員長（佐々木雄司君） いや、いいんですよ。

○副委員長（保田 守君） いいんですか。

○委員長（佐々木雄司君） いいんです。

○委員（佐藤武文君） 説明したのか。

○委員長（佐々木雄司君） はい。

○副委員長（保田 守君） 見通しとしては、今年の夏は暑い夏で水道量を大分使うと思うんですけども、どんなんですか、予定どおりに進んでいきそうなんでしょうか、4か月間ということだったんですけど。

○上下水道課長（塩見真康君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 塩見上下水道課長。

○上下水道課長（塩見真康君） 6月分の使用料といたしましては8,300万円を見込んでおりましたが、6月分については約8,300万円、7月分につきましても8,200万円を見込んでおりましたが、先ほど御報告いたしました、8,000万円となっております。したがって、このまま順調に推移していけば見込みどおりの範囲内で収まるのではないのかなと考えております。

以上でございます。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

○副委員長（保田 守君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 今の確認なんですけど、目標にしてみましたみたいな金額が8,000万円、8,200万円、これは前年度の実績という意味合いでよろしいんでしょうか、その確認をさせてください。

○上下水道課長（塩見真康君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 塩見上下水道課長。

○上下水道課長（塩見真康君） すいません、説明が足りませんでした。先ほど申し上げまし

た見込みというのは、昨年度の同月の数字でございます。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

そのほか委員さんのほうでありましたらよろしくお願いします。

水道使用料金。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 見込みどおりぐらいでいっとるということだけど、ということは、コロナの関係でそりゃあ無料という、下水道料金は別として、一般の水道の分だけしたんじゃけど、去年と同じぐらいの推移でいっとるということは、実際コロナでたくさん使うたというふうになってねえでしょ。そこらはどんなですか。

○委員長（佐々木雄司君） 答弁願います。

○上下水道課長（塩見真康君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 塩見上下水道課長。

○上下水道課長（塩見真康君） 結果の数字を見る限りにおいては、委員がおっしゃられるとおり、特にコロナの影響でたくさん水を使われたようには判断しておりません。

以上でございます。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

○委員（行本恭庸君） よろしい。

○委員長（佐々木雄司君） そのほか何かありましたら。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、上下水道課所管部分はこれで終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

上下水道課の所管部分につきましては、これで質疑を終わりたいと思います。

続きまして、地域整備推進室の所管部分につきまして質疑がありましたらよろしくお願いたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、これで地域整備推進室の部分につきましては質疑を終わりたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） それでは、これで終わりたいと思います。

以上で建設事業部の所管部分につきましては終わります。

そのほか、委員さんのほうでございましたらよろしくお願ひいたします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 市道の管理についてお伺ひしたいことや、また私個人的な意見を申し上げさせていただきたいと思うんです。

といいますのが、市道の管理について、過去にも市道の管理が悪いがために交通事故等々があって、保険金でいろいろ修理をしたという経過、いきさつもあります。その中で、最近市道に草が生えて非常に見にくい状況が続いておるといふ状況なんですね。

それで、私は、先般日曜日に区の奉仕作業等々がありまして出て行っておったときに、水路に非常に落ち葉が落ちておるといふことの中で、これから台風が来るので水路掃除はしておこうということで、水路の清掃も行いました。そのときに、水路のへりの側溝の上の部分に非常に草が生えておると。見れば、そのへりの市道にも草が生えておるといふような状況の中で、非常に市道の管理が悪いのではないかというふうな印象を受けました。そして、水路の掃除あるいは水路のへりの草等々については、区長にどこが管理をせにやおえんのんならということをお伺ひしたところ、区長は、市が管理すべき部分であるということの中で、何回も市のほうにそのことについて申し入れをしておるけど、していただけないんだというふうなことで、うちの地区だけではなく、よその地区においてもそういうことは私は多々あるのではないかと。

そして、市道の管理については、シルバー人材センターに任せっ切りで、シルバー人材センターが見回りをして、その状況を執行部がお聞きになられて今判断をしておる。要するに、シルバー人材センターの方々と市民、それから職員、見る目が私は違うと思うんですね。そういうことの中で、市道の管理についてきちっと私はやっていただきたい、やるべきではないかというふうに思っております。何も地区にそういうふうな負担をかけるべきではないかな。もし負担をかけるのであれば、区長さんとよく相談をされて、その管理については区の方々が納得をしてしていただけるような状況をつくるべきではないか。市ができないのであったら、それぞれの地区に管理委託をするなり何なりして、市道というものはきちっと整備、美しい市道であってほしい。赤磐市に行ったら、赤磐市の市道はきれいだなと言っただけのような道づくりをしていただきたいというふうに思いますけど、その点についてはいかがでしょうか。

○委員長（佐々木雄司君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 先ほどの市道管理についてお答えをさせていただきます。

市道の管理については、佐藤委員もおっしゃられたように、パトロールについてはシルバー



人材センターのほうへ委託をしております、落ち葉の確認であるとかそういったことも徹底するような文書を7月には掲出をしております。うちのほうも定期的にパトロールをさせていただいております。今後につきましては、より一層パトロールの強化をさせていただきまして、美しい路肩であるとか水路であるとか、そういったものになるように努力をさせていただきたいと思っております。

それから、管理につきまして地元の区長さんと協議をさせていただきまして、市道管理について地元でやっていただくところ、うちがやるところっていうのを判別をさせていただきまして、うちが管理するところにつきましてはより一層の管理をさせていただきたいと考えております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私は、具体的な場所を申し上げて報告をさせていただきたいんですが。先ほど課長は、見回りをして定期的にそういう管理しておるということを言われましたけど、正崎からふれあい公園に上がる道路、見ていただければわかるように、あそこは、管理をアダプト事業の事業者が何年もやられておったわけでございますけど、最近アダプト事業の事業として取り入れておられません。そういうことの中で、草ぼうぼう生えっ放しです。

そして、先ほど管理をしておると言われましたけど、水路にどれだけの泥がたまっておったか。1年や2年や3年、過去5年ほどはしてない状況であったというふうに私は判断しております。すごい泥がたまっておりました。それから、落ち葉が1年、2年の落ち葉ではなかったわけなんです。しておるといような状況を報告されましたですけど、私は、何年もしてないという状況を区長あるいは区の幹部、私も幹部の1人であるわけでございますけど、そういうことの中で把握をしております。言ようこととやりようことが一切一致しておりません。

そういう状況の中で、厳しいかもしれませんが、赤磐市の市道は美しいと言われるような道づくりをすべきではないかということを強く私は訴えておるんです。そういうことの中で、あまり軽々な答弁を私はいただきたくない。やるかやらんかもう一遍はっきり答弁していただきたいと思っております。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 御指摘ありがとうございます。赤磐市の市道適正管理に向けて、地元の方の協力を得ながら、より一層していきたいと考えております。

私のほうからは以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） いやいや、地元任せっ切りで市道をきれいにするという考え方は違うんじゃないんですか。赤磐市がそういうことを率先してやるべきであって、できない部分を地区にカバーしてもらおうという考え方に立っていただかなければ。市道は赤磐市の財産ですよ。そういう考え方が全く執行部にはないんじゃないんですか。もう1度答弁してください。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 市道管理に当たりましては、市の役割、地元の役割、明確にしつつ、適正管理を進めていきたいと考えます。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

そのほか、委員さんのほうから何かありましたらよろしくお願いいいたします。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、これでその他の項目を終わりたいと思います。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） その他の項で私のほうから1件報告をさせていただきます。

資料はございませんが、熊山地域におきまして地域住民の有志を中心に農産物及び食料品の店舗を営んでこられました小野田ふれあい市場の件でございます。

この9月8日に市役所に連絡が入りました。9月13日までで事業を廃止するという連絡でございました。既に13日を過ぎておりますので、事業を廃止されております。

産業振興部では、地域の農産物等の販売や地域の産業にどういう影響が出るのか心配しておるところでございます。今後状況を注視したいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

今御説明いただいた件で質疑がありましたらお受けしたいと思います。

ありませんでしょうか。

○委員（行本恭庸君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 13日からやめた。今あっちのほうへ最近行かんから。じゃけど、事業になるんか、どういうことなのか。もうちょっと説明せにやあわからん。

○委員長（佐々木雄司君） 答弁をお願いします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 先ほど申しましたように、13日で事業を廃止するという連絡が8日に入ったものでございます。その内容につきましては、まだ私のところで十分に承知、把握ができておりません。今後そのあたりも含めてどういう影響が出るのか、どういう対策が必要なのかということを検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 8日に聞いたんじゃろ。それで、13日じゃろ。じゃけ、その間でどういう理由か聞いといてくれにゃ、今日委員会があるんじゃから、委員会だからある程度のことは話が出にゃ。ただ報告だけで13日からやめましたというて言われたって、毎日あっちに下りて見ようるわけじゃねえし。じゃけ、それなりにいろいろ、確かに私が知っとんのは、車をもろうたわな、軽四の。じゃから、あれがお荷物になつとるといのは、大分えらいといのは聞いてったんじゃけど。だから、市のほうももう少しあれをするんならお金でも出してくれりゃまだやる気があるんじゃけど。そうかというて、あの車で石蓮寺の上のほうや、加山といのは1軒、2軒しかねえからほとんど行きょうらんとするけど、それが行くだけのガソリン代が出てこんなことじゃあ、そりゃ、お荷物になつとるわけだから。あれをスタートさせたんなら、それが運営できるような体制づくりをせんと。ただ車だけ買って、それでこれを使うてくださいというてやっただけじゃあどねえもならんで。

これがええ例じゃと思うんで、今後こういうことをやるんなら、そういうことも考えてやらにゃあ。もろうた以上はせにゃあいけんからするけど。いろいろ問題を抱えてあるんだから、したことはいいことじゃと思うんじゃけど、それがいいようにいけるようにやってくれにゃいけん。問題はお金じゃ、何をしても。金がなけにゃあ何にもできんのだから。今さっきの草の管理にしてもそうじゃ。しっかり予算をつけてもろうて、一番、金を減しやすいところは、産健の職務が一番減しやすいわけだから。事業をせにゃあええんじゃけえ。ほかのところはそうはいかんわのう。そこらをよう考えて執行部のほうもせにゃいけん。

○委員（金谷文則君） その件についていいですか。

○委員長（佐々木雄司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） さっき調査をすると言ふんなら、ぴしっと皆さんが今いろいろな問題、どういう問題があったかということをやんとまとめて、また皆さんに、今まとまってねえんなら早急にまとめていただいて報告をしていただくような準備をして、それで今言うたように、せっかくああいういい事業をやり始めて、それが行かなかつたら困つとる人もおられるわけじゃろうし、その次に何かあったときには二の足を踏んではいかんというふうなことになつてもいかんので、早急にどういうことになつてこれから先どうなるんかということをもと

めていただくということでお願いをしたいと思いますが、いかがですか。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 金谷委員の言われるとおりになんですけども、地域にとって大事なことだったんだろうと思うんですけども、恐らく同じような業態のところは赤磐市にはあると思うんですけども、その辺も今回のことをしっかり検証していただいて、ほかのところに対してきっちり対応していただきたいというのを要望します。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 小野田ふれあい市場につきましては、先ほど原因につきまして私は詳細を承知しておりませんということでお答えしたんですが、その原因の一部として今回のコロナの感染症の影響が大きいというふうには聞いております。そういう中で、13日で事業を廃止されたということと承知しております。

また、その詳細につきましては、今後聞き取りなりしまして報告させていただきます。

以上でございます。

○委員長（佐々木雄司君） じゃあ、また改めて分析ができましたら御報告いただくということでよろしくお願ひしたいと思っております。

それでは、以上をもちまして第8回産業建設常任委員会を閉会したいと思います。

閉会に際しまして、川島副市長より御挨拶をいただきます。

○副市長（川島明昌君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 川島副市長。

○副市長（川島明昌君） 本日は第8回産業建設常任委員会を開催いただき、慎重なる御審査をいただきましてありがとうございました。

本日審査いただきました議第51号から54号につきましては、可決すべきということで決定いただきました。ありがとうございました。

それからまた、本日委員会でいただきました御意見につきましては、業務の執行に当たって十分検討してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

それから、コロナ対策の支援につきましては、今後とも継続的に実施してまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございました。

これで委員会を閉会といたします。

皆さんお疲れさまでした。

午前11時3分 閉会